



2023年4月28日

各位

会社名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員
経理グループ長 上辻 清隆
(TEL. 06-6201-2461)

2023年3月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年8月1日に公表しました2023年3月期連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2023年3月期連結会計年度業績予想と実績の差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	99,000	2,700	3,400	2,500	102.15円
今回発表実績(B)	94,510	1,706	2,541	885	35.76円
増減額(B-A)	△4,490	△994	△859	△1,615	—
増減率(%)	△4.5	△36.8	△25.3	△64.6	—
(ご参考)前連結会計年度実績 (2022年3月期)	76,093	3,250	3,433	1,746	69.42円

II. 差異が生じた理由

当連結会計年度の業績は、第4四半期以降、欧米の景気後退によりローター事業で、大幅な販売減少となり、売上高が減少しました。その結果、売上高につきましては、前回の予想を下回りました。

収益につきましては、エネルギー価格の高騰や世界的なインフレの影響で製造原価が上昇したこと、売上高減もあり、その結果、営業利益につきましては、前回の予想を下回りました。

経常利益につきましても、持分法投資利益の計上がありましたが、営業利益減の影響が大きく、前回の予想を下回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券売却益、負ののれん発生益を特別利益に計上しましたが、訴訟損失引当金繰入額、固定資産解体撤去損を特別損失に計上したため、前回の予想を下回りました。

以上